

「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」の解説

1 梅雨明けの発表

沖縄地方は、6月12日ごろに梅雨明けしたと見られることから、沖縄気象台は本日11時00分に「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」を発表しました。

2 今年の「梅雨明け」は6月12日ごろ(階級:かなり早い)

平年より11日早く、昨年より28日早い

- (1) 平年は6月23日ごろ
- (2) 昨年(令和元年)は7月10日ごろ(階級:かなり遅い)
- (3) 1951年(昭和26年)からの統計
 - ア 最も早い梅雨明けは2015年(平成27年)の6月8日ごろ
 - イ 最も遅い梅雨明けは2019年(令和元年)の7月10日ごろ

【参考】梅雨明けの平年及び階級

	平年	かなり早い	早い	平年並	遅い	かなり遅い
梅雨明け	6/23ごろ	～6/17ごろ	6/18ごろ ～6/20ごろ	6/21ごろ ～6/23ごろ	6/24ごろ ～6/29ごろ	6/30ごろ～

(統計期間 1981～2010年)

注)梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間がある。

3 今年の梅雨期間(5月11日～6月11日)の降水量(速報値)、平年値及び平年比

官署名	実況値(ミリ)	平年値(ミリ)	平年比(%)
那覇	396.5	287.8	138
名護	475.0	268.7	177
久米島	609.0	324.6	188
南大東島	664.0	260.0	255
宮古島	719.0	245.6	293
石垣島	972.0	263.2	369
西表島	440.0	219.0	201
与那国島	342.5)	220.1	156

※:「)」は準正常値であることを示し、今後修正する可能性がある。

4 今年の梅雨期間(5月11日～6月11日)の日照時間(速報値)、平年値及び平年比

官署名	実況値(時間)	平年値(時間)	平年比(%)
那覇	131.9	145.1	91
名護	115.3	139.3	83
久米島	128.4	142.0	90
南大東島	153.3	174.5	88
宮古島	136.6	157.9	87
石垣島	136.3)	170.0	80
西表島	139.3	174.5	80
与那国島	131.4)	148.5	88

※:「)」は準正常値であることを示し、今後修正する可能性がある。

5 今年の梅雨の特徴

沖縄地方は、5月11日ごろ(平年より2日遅い)に梅雨入りしたと見られ、6月12日ごろ(平年より11日早い)に梅雨明けしたと見られます。6月12日ごろの梅雨明けは、統計を始めた1951年以降7番目の早さとなります。5月11日から6月11日の期間降水量は、石垣島で972.0ミリ(平年比369%)を観測するなど、大東島地方と先島諸島の多くの観測点で降水量平年比は200%以上となりました。また、同期間の日照時間はすべての観測点で平年比100%未満となりました。

5月の沖縄地方は、梅雨入り後、梅雨前線や熱帯低気圧、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多くなりました。12日は沖縄本島地方と八重山地方で大雨となった所があり、石垣島では日最大1時間降水量126.0ミリを観測し、観測史上1位を更新しました。18日は沖縄本島地方と宮古島地方で、19日は先島諸島で大雨となった所がありました。21日から23日、31日は沖縄地方の各地で大雨となった所があり、22日の日降水量は下地島で135.5ミリ、鏡原で111.5ミリを観測し、いずれも5月としての1位を更新しました。

6月上旬の沖縄地方は、前半は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、7日、8日は湿った空気の影響により各地で大雨となった所があり、7日は久米島で日降水量166.5ミリを観測しました。8日は石垣島や西表島で記録的な大雨が降り、日最大1時間降水量は石垣島で122.5ミリ、大原で97.5ミリを観測し、いずれも6月の1位を更新しました。また、石垣島では月最大24時間降水量416.0ミリを観測し、観測史上1位を更新しました。

注) 梅雨の時期に関する気象情報は、現在(本日)までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表したものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。